

赤塚公園 崖線の植物 観察レポート

2024.1.23 発行：赤塚公園サービスセンター
＜第2号＞

9時現在の気温6.4℃から始まった植物観察。**城址地区**では美しい光景に出会いました。何もないように見えても、植物たちは春に向かって準備をしているんですね。

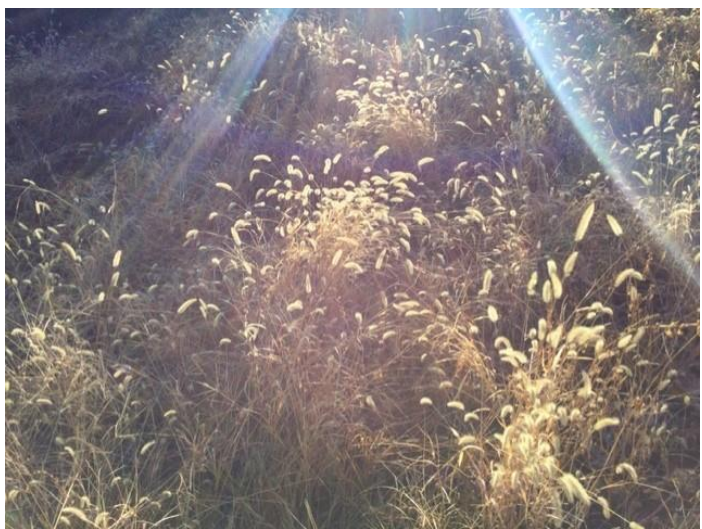


溜池公園では紅白のウメが揃って開花！**城址地区**の**ヤブツバキ**は蕾をふくらませて、花開くまではもう少しかな？待ち遠しいです。そうそう！ロウバイが開花していましたよ！（写真は次ページに♪）




こちらが**城址地区**のロウバイで、香りも良く美しいです。赤くなり始めた**アオキ**の実（下）と花芽を発見！ミチタネツケバナも開花し、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウなども前回の観察時から引き続き咲いていました。

大門地区では**シロボウエンゴサク**の葉（下）が目立ちます。ヤブニンジン、ヘビイチゴの葉が展開していました。季節は春に向かっていて、とはいえ、**八丁目の林**では、冬ならではのエノコログサが美しい光景を見ることができました。



最後に・・・

「崖線の植物  観察レポート」第2号！お読みくださりありがとうございます。まだまだ改良を重ねていきますので、楽しみにしていただけましたら嬉しいです。